



東北大学グローバルCOE

Network Medicine

創生拠点

NM高等教育セミナー

# 仲野 徹 博士

(大阪大学大学院医学系研究科幹細胞病理学・教授)

## 「発生・分化におけるDNA修飾」

2011年8月22日(月) 17時-18時30分  
医学部5号館201号室

発生・分化では、ヒストン修飾やDNAメチル化といったエピジェネティック制御が重要な役割をはたしています。長い間、DNAの修飾はシトシンのメチル化のみであると考えられてきましたが、最近になり、ヒドロキシメチル化も存在することが明らかにされ、驚くべきスピードで研究が展開されています。

今回のセミナーでは、初期胚の発生に必須なPGC7/Stellaが、初期発生過程において、どのようにしてDNAのメチル化およびヒドロキシメチル化を制御しているのか、を中心にお話をする予定です。また、PGC7/Stellaを用いて、DNAメチル化と発がんの関係についての研究もおこなっており、あわせて、その内容も紹介するつもりです。ぜひご来聴の上、DNA修飾の生物学的意義のおもしろさに触れてみてください。

### 参考文献

1. Wossidlo M et al. 5-hydroxymethylcytosine in the mammalian zygote is linked with epigenetic reprogramming *Nature Commun.* 2:241, 2011
2. Kuramochi-Miyagawa S et al. MVH in piRNA processing and gene silencing of retrotransposons *Genes Dev.* 24:887-892, 2010

本セミナーは医学履修課程特別セミナー等を兼ねています。受講学生は履修簿を持参し、セミナー修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。学部生の皆さんもぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知 / 世話人 五十嵐 和彦(生物化学分野)  
問い合わせ先: 内線7596